

市政 PICK-UP

5年に一度の健康診断

9月3日～5日、国の名勝・錦帯橋の健全度調査が行われました。

橋の寿命を判断する「健康診断」は1953年に初めて実施され、1973年からは5年ごとに実施されています。

調査は市が委託している早稲田大学理工学術院総合研究所の学生28人によって行われ、橋に荷重をかけた時のたわみ具合の確認や振動測定などの強度調査、また橋の裏側に設置されたつり足場からの目視観察や打撃音検

錦帯橋の健全度調査

査などの老朽調査がされました。

2日目の調査では、岩国高等学校の生徒128人が橋の上に並び、約6トンの荷重でどのようなたわみが生じるかといった測定がされました。たわみは約1mmで、構造的問題はなかったとされました。

今回の調査の結果は2021～2023年度に予定されている次の架け替えに生かされます。

図 錦帯橋世界遺産推進室

☎ 085116



野菜をおいしく食べよう！

8月19日、市役所で「第1回食育標語」の表彰式が行われました。

これは市が3月に、家庭や学校などで食に関する正しい知識や習慣を身につけてもらうことを目的に食育推進計画を策定したことに伴い、その周知を図るために5月から募集していたものです。「野菜をおいしく食べよう！」というテーマのもと、親子、小学生、中学生、高校生、一般の5部門に計825点の応募がありました。



▲福田市長から賞状を受け取る親子部門の受賞者

第1回食育標語 表彰式

募がありました。

表彰式では、各部門の最優秀賞の受賞者へ、福田良彦市長から賞状と岩国れんこんやトマトなどの地場野菜の詰め合わせが贈られました。

また各部門で最優秀賞に輝いた標語は、市のホームページなどに掲載され、これからの食育に関する取り組みのPRに活用されます。

閩岩国市保健センター
☎ 243751



▲受賞者（前列）と家族（後列）

KC-130 空中給油機部隊が米軍普天間飛行場から岩国基地への移駐を完了したことを受け、8月29日、小野寺五典防衛大臣、高田稔久外務省沖縄担当大使が市役所を訪れ、福田良彦市長、桑原敏幸議長らと会談しました。

小野寺防衛大臣 来岩

小野寺防衛大臣は「8月26日に岩国基地へのKC-130の移駐が完了した。我が国の安全保障上、大変重要な移設であり、沖縄の負担軽減につながる。岩国市や地域の皆さまに、心からお礼を申し上げたい」と謝意を述べました。

福田市長は「KC-130の移駐が所期の目的のとおり、沖縄の負担軽減につながることを願っており、基地周辺における運用にあたっては、安全の確保を期すよう、米側に申し入れをしてほしい」と求めるとともに「安心・安全対策や地域振興策の着実な実施」を要請しました。

閩基地政策課 ☎ 295024

KC-130 移駐に対する謝意



▲会談する小野寺防衛大臣（前列左）



▲福田市長（中央）